

宇都宮商業會議所月報

第七拾參號

每定價部金參錢
郵稅部金五厘
印刷人 荒川義興
發行所 宇都宮市堀町一丁目
宇都宮商業會議所
電話二五五
印刷所 宇都宮一條町七番地
電話三六五

公 示

明治四十二年四月廿日執行本會議所
議員半數改選選舉ニ當選就任シタル
議員左ノ如シ
明治四十二年四月

宇都宮商業會議所

記

村山金平	青木仁平
峯岸福三郎	篠崎安平
吉田源吉郎	古泉徳次郎
福田富次郎	木村作次郎
久我彌平	渡邊長吉
黒川徳藏	坂本八郎
矢澤良松	伊澤清三郎
福田恒吉	清水清藏
大島三千	宇都宮石村軌道株式會社

稟 告

一 商工業の進歩發達を促すへき事實又は法律命令
其他に商工業の發達を阻害する事情あらは速に
其狀況并に之に對する御意見等御一報あらんこ
とを望む
一 商工業に關し獎勵すへき慣習若くは矯正すへき
弊習等御認めの場合には細大となく御報告あらん
ことを望む
一 地區内商工業組合の組織に關しては當所は出來
得る限り斡旋盡力すへし若し之れか組織の必要
を認められたる場合は申出られたし
一 地區内商工業組合にして總會又は役員會々場に
充つる爲め會議室の使用を望まるゝ向に對して
は無料にて貸與し且つ當所の事務に支障を來さ
ざる限り其事務をも補助すへし
一 地區内商工業者各位にして商工業に關する事項
に付諸官廳其他に對し本會議所の照會又は紹介
を得んことを望まるゝ場合は遠慮なく申出ら
したし
一 本會議所は商工業者各位の時々來所高見を演述
調査研究の資料を供給せらるゝを切望す
一 本會議所には官報、通商彙纂、商標公報、特許公
報、實用新案公報、山林公報、各地商業會議所報
告書其他商工業に關する各種統計及諸般の有益
なる圖書備付あり商工業者各位の隨時來所閱覽
あらんことを望む

宇都宮商業會議所

特別廣告

定期預金 六ヶ月以上年六分
別段當座預金 百圓ニ付壹錢二厘
當座預金 百圓ニ付日步壹錢
貯蓄預金 年六分



株式 宇都宮銀行

全材木町支店 (電話二三番)
全足尾支店 (電話四五番)
全足尾出張所 (電話八番)

諸貸附、割引、爲替、荷爲替、代金取立
總テ精々御便利ニ取扱可申候

定期預金 六ヶ月以上年六分
別段當座預金 百圓ニ付壹錢貳厘
當座預金 百圓ニ付日步壹錢
貯蓄預金 年六分



株式 下野銀行

全新石町支店 (電話二三番)
全日光支店 (電話三四番)
全眞岡支店 (電話六〇番)

諸貸附、割引、爲替、荷爲替、代金取立
總テ精々御取扱可申候也

明治金融市場 破瀾梗概



一明治初年二年は幕政崩潰の後を受けたる財界混... (二)明治三四年の頃より政務諸般の秩序の整頓と共に...

年の恐慌を誘致せる之を第三回の景氣勃興と爲す... (七)二十三年の恐慌に次いで我財界は不景氣に轉じ...

りて遂に猛烈なる起業熱を變したり、之を維新以... 勸儉貯蓄の本義... 勤儉貯蓄の要は無用の入費を節し其節し得たる所...

顧客待遇法

顧客に對し第一に心得べき事は、人は人の... 弱点を知る事なり。而して其弱点の第一は誰も...

議員選舉

宇都宮商業會議所議員半數改選々舉は三月廿日全... 所内に於て執行せられたるが、從來全所の議員選...

法律上ニ於ケル營業ノ自由

營業ハ憲法上ノ保障ナク、又一般ニ營業ノ自由ニ... 關スル法律若クハ勅令ノ通則ナシ。隨テ行政官廳...

資金集散各年比較 (市内)

Table with columns for years (1900, 1901, 1902) and rows for '貸出' (Lending) and '貸入' (Borrowing) with numerical values.

被選資格の欠缺せる者一二名を減し、選舉當日... に至りては其數二十名となりたり。然れども競...

附言 此ノ如ク營業自由ニ對スル法律ノ統一規定ナク多クハ府... 縣令ナリテ規律セラル、カ故ニ規定ノ内容區々統一ナ...



紀文大盡

「沖の暗いのに白帆が見ゆる、ヨイトコロサ、あれは紀伊國、ヤレコラコレハノササ、ツサツサ、蜜柑船...」

の慮に舞られるか、萬兩の黄金に浮み上るか、地獄の上の一足飛び、船は今にも碎くるばかり揺上げ揺下されつゝも、箭の如く駛るのであつた...

事務要領
本年三月執行シタル事務左ノ如シ
一 收受文書...

金融

◎明治四十二年三月中市内金融概況

一、金融ノ繁簡並ニ其原因

(イ) 一般ノ商勢 (貨物ノ生産並集散ニ付テノ資金)

一般商勢引續キ不活潑ニシテ入氣進マヌ各商何レモ手控前途ヲ觀望シ居ルノ狀況ナレハ從テ資金ノ移動少ク...

(ロ) 株式市場米穀市場等ニ於ケル資金ノ需要

當月ノ株式ハ一高一低見定メ難キ状態ナリシ爲メカ是等ニ對シテ資金ノ需要ナシ、當地ノ米穀ハ東京市場ニ於ケル漸低ノ影響ヲ受ケ...

(ハ) 其他金融ノ繁簡ヲ誘致シタル諸事情

當月ハ前述セル如ク總シテ金融緩慢ノ裡ニ經過セシト雖トモ上旬ニ至リ田租、所得税、酒造税、醬油税納期並會計年度末等ノ爲メ...

二、將來ノ見込

差當リ資金ノ需要ヲ喚起スヘキ事情モ認メラレニ唯夏物仕入ニ多少ノ資金ヲ要スヘキモ財界ノ景況頗ル不振ナルヲ以テ何レモ手控ノ形勢ナレハ著シキ變動ナク...

三、金利

Table showing interest rates for various financial instruments like bonds and loans.

四、諸銀行貸出金、預金、金銀有高

Table showing bank deposits, loans, and gold/silver balances for various banks.

一雜件 合計 百二十三件 三百三十三件

重要事項
三月一日 荒川書記長改正定款認可申請ノ爲メ農商務省へ出張...

巨額の報酬

Table listing high remuneration for various officials, including names and amounts.



臺灣の發達

臺灣が我國の所有に歸して漸く十五星霜を経る今日進歩發達の見る可きもの多きは短月日の經營として寧ろ成功したるものと云はざるを得ず之れ蓋し學術の應用の困て然らしむる處にして若し以前の支那政府の手にありしに於ては決して今日の如き結果を見ざりしなる可し其重要産物の一斑を紹介せん。

すものある可く殊に臺灣南部は熱帯地方ニ屬するを以て工業上の原料たる可きものに富み米の如きも一ヶ年三回の收穫を得るに至る可く前途益々有望なり。

四十二年度は馬匹改良費三十八萬圓、諸拂辰金二十五萬圓、政府の負擔二百萬圓、民間よりの寄附金百五十七萬を之に充當し該計畫を進行するの件は曩に議會の協賛を経たる所なるが今遞信省の調査に依れば四十一年度米現在全國加入者數甲地三萬七千六百六十丁、丙地二萬九千九百九十五丁、合計七万六千六百五十五丁に對し該四年計畫より更に四十二年以降全體に於て六万二千三百三十丁の加入者を増加せんとするに在り而して其中東京の分のみに付ては現在の二万八千餘を三万五千内外に増加する計畫なれば將來尙一萬七千を四年間に架設せざるべからず故に一箇年に四千二百餘の増設を爲す筈にして而かも既に申込あるものに對しては從前通り無料架設を爲し併せて寄附金制度をも採用する方針なれば一年千宛四年通じ四千餘は無料となり又一年三千餘四年を通じ總計六千餘は寄附金制度に支配せらるべし。

臺灣米作の將來 農商務省の調査に依れば臺灣島に於ける米收穫高は一ヶ年約五百萬石なるも未だ東海岸台東の平野は茫々六十里に連り活野空しく狐狸の棲む委ねつゝある有様なるを以て順次之れが開墾の運びに至らば尙は三四十萬里歩の農耕地を得るに至るべく隨つて其米收穫高も一千万石(内地産米四千五百萬石)に達するは容易の事なるべく右の如くなるに於ては同島内の米消費額三百五十萬石及び海外輸出額たる百萬石を減するも尙は五百萬石以上を日本内地に供給するを得るに至るべし。

全國工場數 最近農商務省に於て調査せる處によれば全國の工場は逐年著しき増加をなし現今原動力を用ふる工場五千二百七、原動力を用ざる工場五千七百三十一、總計一萬九千三百五十九人、女三十八萬五千八百三十六人、合計六十四萬三千二百九十二人、又職工以外の労働者人夫は男十四萬七千四百五十五人、女三萬五千九百一十一人、合計十八萬二千八百六十六人なり、左れば此等の使用人及工場役員本社員等を合するときは約八十五萬人に達すべしと云ふ。

肥料界の革命 近時歐米に於て空中の窒素を肥料に應用する術發見せられたるが右に付小林農商務技術師は曰く右は空氣中の窒素を高度の電氣を依り分解して石灰に化合しカーバイドの如き物となし肥料となすものにして之を窒素石灰と稱し既に熊本縣隈川水力電氣會社にて特許を経て製出し居れるが如き外國輸入額約一千圓に達せり要するに右窒素石灰は今尙は試驗時代に屬するも其利用宜きを得は將來實に有望にして現に八百萬圓以上を輸入し居れる硫酸アンモニアの如き同石灰を以て製出するを得べく殊に其資金の如きも空氣分解を主とする事故唯だ電力のみに要するものれば多額を要せざるべく右にして今後益々發達せば實に肥料界の革命を見るに至るべく主務省にても目下大に研究中なり云々。

電話四年計畫 四十二年度四百廿萬圓、四十三年度四百萬圓、四十四年度四百五十萬圓、四十五年度五百五十萬圓、合計千八百二十萬圓を以て四年間に電話架設の完成を期する新規の計畫及

稅吏の心得

稅務監督局長會議に於る大藏大臣の訓示 △財政計畫 尙圓滿に實行せらるゝや否やは稅務當局の施設が其當を得るや否やに係る所頗る大なるを以て諸君は各自責任の重大なるを自覺し銳意稅務行政の施行に遺憾なからしめんことを期せざるべからず。

(一九八五年)の調査に對照すれば農業に従事する者は漸次減少し前回には全人口の三割五分八厘を示せしも今回は僅に二割八分六厘となり之に反し工業に従事する者は前回の三割五分五厘より今回の四割二分八厘に増加し又商業及通運業に従事する者も前回の一割より今回の一割三分四厘に増加したり、されば同國に於ける工業の發達の非常なるを窺ふに足れりといふ。

地方改良事業方針 内務省にては四十二年度の豫算に於て地方改良事業四萬三千元を要求したるが右は從來産業組合其他の地方公共團體の事業を獎勵せんが爲に現在事務官各自手分けをなして講演勸誘等をなし來りたるも更に之を勵行するの必要を認め且つ折角成立したる公共團體の中にも成績舉がるもの尠なからざるは主として其財政の紊亂を基くものなるを發見したれば此點に就て誘掖指導を爲すの必要あり之が爲めには關係官吏の人員増加を要する次第にて此經費を要求したるものなるが取敢へず地方局に事務官二人を増加するに決したり尙は議會の一問題となりたる貯蓄獎勵は地方公共團體の財政紊亂も畢竟するに高利の資金を運用する結果なれば貯蓄獎勵に依り得る資金に依りて公共團體の高利債を低利債に借替へしめんとの趣旨に外ならず去れば郵便貯金ならん銀行預金ならんを問はず一様に之を獎勵するの方針にて更に進んで伊太利國に於て行はるゝが如く民間の貯蓄銀行預金の幾分を公共團體の要に供せしむべしと云ふが如き法律を制定するは當局者の最も希望する所なるも國情到低之を許さざれば先づ出來得る限り公共團體に低利の資金を供給せしむる機勸誘するの方針なりと尙は貯蓄獎勵の具體的方法も就ては本月中に開かるべき地方官會議に於て親しく地方官と協議を遂げたる上にて決定せらるべしと云ふ。

判決例

△政府工事ノ請負ヲ爲ス者ノ資格 (判決要旨) 政府ノ工事ヲ請負フ者ニ特別ノ資格ヲ要スルコトハ諸法令ノ定ムル所ナレバ其請負人ヨリ更ニ下請負ヲ爲ス者ノ資格ヲ定メタル法令ナクハ下請負人ニ於テ契約ノ當時政府ニ對シ直接ニ工事ノ請負ヲ爲ス資格ヲ有セサルモ之カ爲メニ其下請負ニ關スル契約ヲ目シテ當然無効ナリト云フヲ得ス(大審院明治四十一年(オ)第五百二十二號)

△買戻權ノ性質 (判決要旨) 買戻權ハ一ノ債權ニシテ財産ナルヲ以テ之ヲ他人ニ渡讓シ得ヘキハ當然ナリ(大審院明治四十一年(オ)第五百二十六號)

△社長ノ意義 (判決要旨) 社長ナル名稱ハ民法商法其他ノ法律ニ於テ特ニ認メラレタル稱呼ニ非サレバ我國ノ取引上慣用セラル、一種ノ熟語ニシテ會社ノ主席取締役ヲ意味スルモノトス(大審院明治四十一年(オ)第五百二十六號)

△會社設立ト引受株式ノ不足 (判決要旨) 商法一三六條ニ依リハ引受キ株式アルトキ發起人カ連帶シテ之ヲ引受クル義務ヲ負フヲ以テ設立登記後引受キ株式アルコトヲ發見スト雖トモ會社ノ設立ハ無効トナス(東京地方裁判所)

△賦課徴收の手續 を簡易にし時間と手数を省略する方法を講ずるは稅務行政に於て最も注意すべき要項なりとす、かの脱稅取締の目的を以て執行する検査監督の如き亦宜しく正邪を辨別し寛嚴其中庸を得て機宜を失はざらんことを要す。事務の取扱に流れ繁細に失し納稅者をして無用の煩勞を感せしむるときは租稅の負擔以外の苦痛を加へ延て租稅本來の得失を疑はしむるに至るの慮なきを以て成るべく納稅者の便宜を計り其業務の障礙とならざらんことに注意せざるべからず。

△稅務官吏 人民の財産に對して業務を行ひ又犯罪事件の檢舉を爲す等普通人情の喜ばざる事務に従事するものなるを以て、其言語動作を慎み人民に接するには相當の禮節を守ると同時に常に懇篤指導の念を去らす能く理義の在る所を明かにし各人をして安心して納稅の義務に服せしむるの用意あるを要す。苟も粗暴の言語を發し又は威壓の態度を示し親切丁寧を缺くときは忽ち人民をして嫌忌の念を發せしめ徒に收斂苛察を叫ばしめ稅務の圓滿なる執行を完うするに至るを以て此點は深く戒心せざるべからず。

△獨逸工業發達 獨逸は一昨年(一九〇七年)六月十二日を期して行はれたる國勢調査の結果を此程發表せしが之れを其前回即ち十四年前

Table of commodity prices for the left page, listing items like paper, cloth, and foodstuffs with their respective prices and origins.

Table of commodity prices for the right page, listing items like rice, oil, and various goods with their prices and origins.

宇都宮物價

(本年三月中平均) 印ハ下落



四十二年營業稅

宇都宮市ニ於ケル明治四十二年營業稅決定額ハ九万八千八百十五圓九十四錢納稅人員二千二百二十三人ニシテ三十九年以來各年度ノ決定額及人員ヲ示セバ、

Table showing tax amounts and personnel for various districts in Utsunomiya City for the fiscal year 1929. Columns include district names (e.g., 池上町, 高橋), tax amounts, and personnel counts.

宇都宮驛旅客乗降

調査表

乗降人員 乗車人員 降車人員 乗車人員 降車人員 乗車人員 降車人員

Table showing passenger boarding and alighting statistics for various stations in Utsunomiya for the fiscal year 1929. Columns include station names (e.g., 清住町, 高橋) and passenger counts.

宇都宮驛發着貨物調査表

Table showing cargo shipping and receiving statistics for various goods at Utsunomiya Station for the fiscal year 1929. Columns include commodity names (e.g., 米, 小麦, 大豆) and quantities.

三月中旬寄贈書目録

- List of books donated in the middle of March, including titles like '名古屋商業會議所月報', '東京工業試驗所業務概要', and '信託報告'.

Registration information for the books listed, including publisher names and registration numbers.

◎ 狸諺いろは

如何なる驚きも三日より長からず
 論語讀みの論語知らず
 始めから長老ではな
 錦の裏はくすかり
 響めたる日よりに毀られるな
 下手に駄目にして油を多くせよ
 燈心の敵となるも愚者の友となるな
 立身は運根純
 濡れぬ前きの傘
 流浪して主の難有さ
 老いたる馬は道を忘れず
 我が事は人に問へ
 借り着より洗いかへす
 大蛇を見るも女を見るな
 歴史はくりかへす
 爪は身がはり
 損たか極楽
 寐た間か極楽
 来年は来年は暮れにけり
 智は立脚から嫁は勝手口から貰へ
 氏なくして玉の輿
 非戸の中から天を見る
 のらくら者も節句動さ
 遅くとも来ぬには優る
 口では大阪の城も建る
 やけ石に水
 詩繪の天秤棒
 賢者ひたるし伊達塞し
 ふる川に水絶わす
 江戸は人の掃溜
 寺の脇に鬼が棲む
 穴の貉の直段も迷ひ
 悟らふと思ふも迷ひ
 木から落ちた猿
 ゆめは夢を照さす
 明鏡も裏に問ふ
 芝居の引にやく芋かぼちや
 貴ふものなら夏も小袖
 千疊敷でも寐るときは一疊
 捨賣に相場なし江戸のはり
 京の女郎に江戸のはり

肥料麻苧
藍 眞 繩

宇都宮市本郷町廿八番地
 商號久喜屋
福田恒吉
 電話 三〇六番
 電略(クキヤ)又(ハキ)

大谷石材販賣

宇都宮市川向町停車場前
 大谷石商會

石材 坂本 仲
 問屋

光力電燈 よりも強し

アセチリン瓦斯
 石油ニ優
 石事百倍
 危険ノ虞
 其他機具一式 電モナシ

御注文ニ應ジ取付其他点燈迄一切請負可申候御
 一報次第店員出張萬事御協議可申候

和紙ハ土佐、駿河、石見、美作等ノ産紙ハ悉ク全地直輸入ニ付中地タル東京若クハ大坂ノ手ヲカラ
 ス故ニ兩都ノ相場ニ相勉メ可申候。洋紙モ舶來紙ヲ始メ内地各製造會社ノ撰定ニ係ルモノ一切取揃有
 之候ニ付和洋共出精販賣可任候御用命奉願上候

和紙卸商 宇都宮市千手町 油屋紙店
相場直三郎
 電話 (四〇番)

寶積寺銀行宇都宮支店
 宇都宮市大工町五番地

定期	座期	預金	預金	金	金
年	日	日	日	日	日
六	一	一	一	一	一
分	分	分	分	分	分
五	四	一	一	一	一
厘	厘	厘	厘	厘	厘

諸貸附當座貸越手形割引荷爲替送金代金取立諸會社配當金代理拂等精々勉強取扱致候
 全國樞要各地ニ爲替取組アリ送金總テ無手数料

電話 三五番 電略(ホウ)

諸建築木材供給請負
諸木材 廉價販賣
戸障子 諸建築工事請負業

宇都宮市日野町
中野製紙株式會社
篠崎安平
 電話 一三八番

宇都宮市宿郷町三番地
電話 二〇七番

宇都宮市日野町
電話 二〇七番

宇都宮市宿郷町三番地
電話 二〇七番

宇都宮市日野町
電話 二〇七番

宇都宮市停車場
古泉 德次郎
 電話 五百三十一番

全製材部
全精米製粉部
製材部擴張

物品の正良ニ代價の低廉と迅速應
 求等は弊店の特色なり

在來水力を應用し製材成し來りたる處今般
 汽罐を應用し在來より拾倍するの製材仕候
 問何率舊に倍し御用命之程願上候

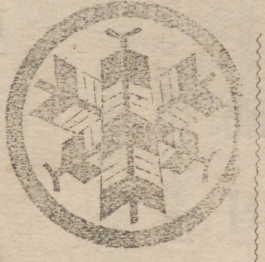
三 麥 倉 商店
 電話 三四九番
 振替口座 一三三六五番

臨時荷受所
 電話 架設中

諸建築用材供給請負
諸木材戸障子廉價販賣
諸建築工事請負業

宇都宮市下野松次郎商店
電話 三二一

博覽會進會於於褒狀受領
大評高
日常ノ食料ト進
物用ニハ便利ニ
テ最モ廉價ナリ




製 造 元
宇都宮市瑞田町
小杉製麵合名會社
(電話 四五四番)

內外各種肥料

東京人造肥料株式會社製品
大阪硫曹株式會社製品
日本人造肥料製造所製品
攝津製油株式會社製品
菜種油粕及魚印過燐酸完全肥料
鹿印牛印各種完全配合肥料

宇都宮市木郷町
上野松次郎商店
電話(ウ)又ハ(ウヘノ) 三三番

明保野 釀造元 新部 幸吉



明保野は學理と實驗とに依て釀造したる酒質醇良滋養豐富香味絶佳なる無比の一品にして夙に好酒諸賢の好評を博し販路日に月々擴張の盛況に在るは深く愛顧諸君に謹謝する所なり
將來益々酒質の改良に努むへし希くは倍舊の御引立をらんことを敬白

宇都宮市河原町
電話 二三一 番
電話(ツッカ)又ハ(ウ) 三三番

內外各種肥料 天

大阪硫曹株式會社製品 特約販賣
關東硫曹株式會社製品 特約販賣

各種取揃へ有之候ニ付御用命奉願上候
見本ハ御一報次第ニ早速御送可申上候

宇都宮市上野松次郎商店
電話 二三一 番
電話(ツッカ)又ハ(ウ) 三三番

關澤商店陳列館

▲宇都宮市の中央二荒山神社の坂下ゆへ土產物御求まは至極御便利であり升
▲獨立の勤工場にて市中無類第一の廉價正札附に致してあり升
▲流行品は他店に魁くるは申す迄もなく花客様にて御承知の筈であり升
▲品が善くて直が安く有る品は取揃てあります



宇都宮市河原町本店
關澤商店陳列館
下野松次郎商店
電話 一四八番

庫下野倉庫株式會社

宇都宮市川向町本店
芳賀郡真岡町 眞岡支店
電話 一四八番

活版印刷所
三共社
電話 三三五番

菊の友は原料を精撰し學理を應用し最も斬新なる釀造

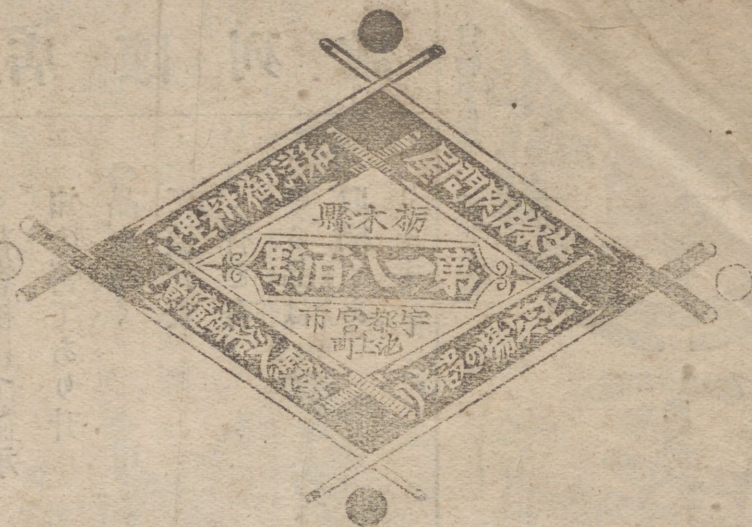


方法にして芳香佳味且つ廉價なり江湖の諸君奮て御試用あらん事を乞ふ

宇都宮市河原町
電話 一四八番

石版印刷所
三共社
電話 三三五番

和洋御料理及天麩羅原料
は元濱方と特約日々新鮮
のものを選み直輸入風味
と衛生を重んじ御手輕と
迅速は最も第一の特色



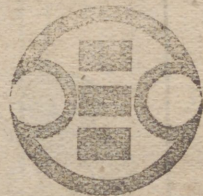
電話 二百二番 七百六番

牛肉の原料は有名なる神
戸米澤豚肉は海外より特
種の者を選み品質精良價
格低廉衛生経済富強兵
に欠かぬ日常食品の親玉

營業品目

藥品賣藥醫療器械
理化學器械
寫真器械附屬一式
コンデンスミルク特約店

宇都宮市馬場町
木村作次郎
電話 一七番
日光鉢石町
木村支店
電話 百十一番



合名 會社

宇都銀行宇都宮支店
宇都宮市大工町四十八番地 (電話百五十番)

一、當座預金 百圓以上
二、定期預金 六ヶ月以上
三、零存整付 全年六分五厘
四、送別金爲替 無手数料
五、金貨金四厘

一、本店出張所 東京市日本橋區小舟町三丁目九番地
二、支店 千五百拾萬圓
三、積立預金 二百五十萬圓
四、諸積立預金 二百五十萬圓

●海陸產肥料各種
●入山石炭各驛一手販賣
●好問石炭各驛一手販賣
●無煙炭各種大販賣
●大和火災保險株式會社代理店

宇都宮市石町
針屋
村上濱吉
電話 三三番